

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-7
災害に強い県土づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 道路維持課長 大賀隆宏 電話番号 0852-22-5187

事務事業の名称	防災事業	
目的	(1) 対象	道路利用者
	(2) 意図	安全で安心な道路通行空間の確保
事業概要	道路斜面からの落石等による道路利用者の事故、被害を未然に防止するとともに、災害発生時における救助、救急、消防活動及び救援物資の輸送が確実かつ円滑に行えるよう、道路防災総点検に基づく要対策箇所の道路防災対策（落石対策）を実施する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	道路防災危険箇所整備率（緊急輸送道路上）	目標値		56.0	60.0	63.0	68.0	%
	式・定義	対策完了箇所数（累計）／要対策箇所総数（635箇所）	取組目標値						
			実績値	52.0	52.2	53.2			
			達成率	-	93.3	88.7	-	-	%
2	指標名		目標値						%
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	3,621,114	5,668,613
うち一般財源 (千円)	101,965	77,946

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成28年9月1日に「落石に係る道路防災計画」を策定し、同計画に基づき道路防災対策（落石対策）を進めている。
 ①落石情報の収集：「バトレボしまね」を平成29年4月7日より運用。H30.3月末時点のダウンロード件数は2,894件。
 ②斜面状態の把握：道路防災点検により要対策箇所の見直しを行っており、平成29年度末で1,421箇所の安定度調査を実施している。
 ③段階施工の実施：平成29年度は11箇所対策工（防護柵、防護網）を実施。また、平成30年度以降の対策予定箇所の用地測量を実施。
 ④緊急対策の実施：安定度調査時に確認された極めて不安定な状態となっている落石源の対策を実施。
 なお、緊急輸送道路上の要対策箇所の対策完了状況は、要対策箇所635箇所のうち、338箇所（対前年+6箇所）の対策が完了した。
 緊急輸送道路上整備率＝緊急輸送道路上対策済要対策箇所÷緊急輸送道路上要対策箇所＝338箇所÷635箇所＝53.2%（未整備箇所数：297箇所）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

「落石に係る道路防災計画」どおりに進捗が図られた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
現時点では、「落石に係る道路防災計画」どおりに進捗している。

②困っている状況が発生している「原因」
現時点では、「落石に係る道路防災計画」どおりに進捗している。

③原因を解消するための「課題」
現時点では、「落石に係る道路防災計画」どおりに進捗している。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

今後も引き続き「落石に係る道路防災計画」の確実な進捗を図る。
 なお、安定度調査の結果によっては、要対策箇所の大幅な増加が懸念されるが、「落石に係る道路防災計画」の確実な進捗を図るため以下の取り組みが必要。
 ・ 確実な事業進捗に必要な予算の確保。
 ・ 用地取得不要区間の把握及び用地取得や保安林解除手続き等の計画的な実施。
 ・ 各事務所・事業所における用地取得・工事に係る業務量の平準化。

防災事業に係る事務事業評価の策定と成果指標については、道路防災点検が完了する平成31年度を目途に新たに設定を行う。